芸品種と肥後椿の葉の構造．京都園芸．58：11–13.　24) 立石新吉 1969. ツバキ類の葉の組織中に介在する異型細胞について．植物研究雑誌．44：40–47.

○佐渡に漂着した植物（北見秀夫） Hideo KITAMI: Tropical plants carried by ocean current to Sado Island.

対島海流によって熱帯植物が運ばれて来る。ヤシの実が渚に 400 箇位も一度に漂着しているのを見た。数箇を割って見ると果肉は皆腐っていた。モダマも時に見受け子供の頃，煙草の胴乱のねじめにして居る大人が居た。其他の植物でも長距離を運ばれるため破片となるものが大部分である。満足な形をしたもの一つを 1951 年山形大学の森邦彦博士に同定を依頼したらゴバンノアシであった。写真は 1961 年に拾ったものである。真黒で気味悪い姿なので今まで拾わなかったものを日本植物学会 34 回大会に持参し九大の細川隆英教授にお見せしたらニッパヤシの分果であった。グンバイヒルガオも砂丘に発育しているのを見る。6～14 枚位の葉をつけるが越冬し得ない。海流の動きはさまざまで朝鮮の鎮海湾で昔海軍が放った漂流ビンの中の日付が 1 年余経たものを拾ったこともある。

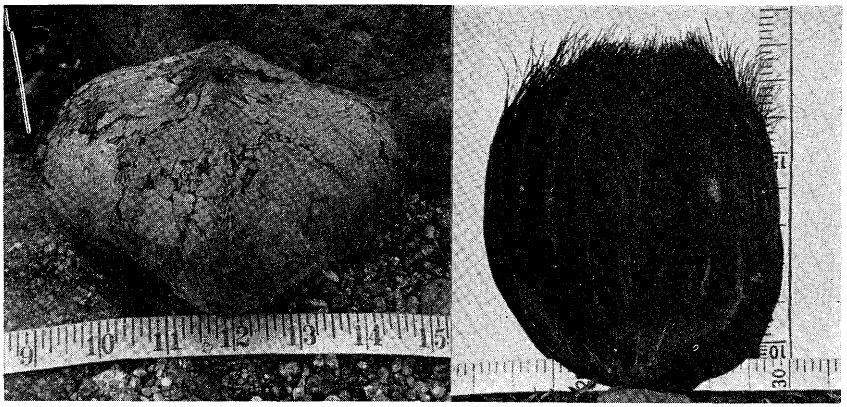

Fig. 1. Left. *Baringtonia asiatica*. Right. *Nypa fruticans*.

正　　誤　(Errata)

	頁 (Page)	行 (Line)	誤 (For)	正 (Read)
Vol. 44	287	23	ジヤナギ	ジャヤナギ
	288	7	ヒメジハ	メヒジハ
	344	19	vercetin	quercetin